



いきいきとくしま 91

「もっと大きな声で言ってみようか。おおきく、おおきく、おおきくなあれ！」
大勢の子どもたちでにぎわう休日のとくしま動物園。その一角で、紙芝居を讀む声が響きま

す。
声の主は、とくしま動物園のボランティア10人でつくる「おしゃべりくまさん」のメンバー。普

紙芝居ボランティア「おしゃべりくまさん」

段のボランティア活動をこなしながら、子どもたちに動物園でもっと楽しい時間を過ごしてもらおうと、昨年4月から入出の多い祝日や夜の動物園の期間中などに紙芝居を始めました。
「最初は、モルモットなど小動物とのふれあいコーナーで順番を待っている子どもたちに、紙芝居でもどうかなってという感じで始まったんです」と話すのは、

代表の田中浩子さん。青空の下での紙芝居に、反応も上々でした。

紙芝居はいつでもどこでもできるのが魅力。これまでに、昼はふれあいひろば、夜間や雨の日は動物園センターなどで行い、多いときには数十人の子どもたちが集まって楽しい時間を過ご

夢はオリジナル紙芝居の制作

しました。
今でこそ楽しそうに紙芝居を讀むメンバーですが、この活動を始めた当初は、経験者も少なく、手探り状態だったと言います。
それが、活動を始めて丸

1年。「今は子どもたちを引きつけるにはどんな読み方をすればいいのかな。次はエプロンシアターもやってみたいなって、やりたいことがどんどん広がっていくんです」。こう話す田中さんの表情は生き生きとしています。

そんな田中さんらメンバーの夢は「オリジナルの紙芝居をつくること」。どんな話を紙芝居にするのか。夢はどんどん膨らみます。
ただ、今のメンバーの中に絵が描ける人がいないのが悩み



子どもたちに紙芝居を披露するメンバー

ですが、「きつとできるよ
うな気がするんです」。田
中さんは最後に力強く話
してくれました。
【問い合わせ先】田中さん
☎090-2893-118
01